

令和7年度  
北陸地方整備局 総合評価審査委員会

令和7年度 実施結果

工事関係	P 1 ~ P 1 2
業務関係	P 1 3 ~ P 1 6
各部会等実施状況	P 1 7 ~ P 1 8

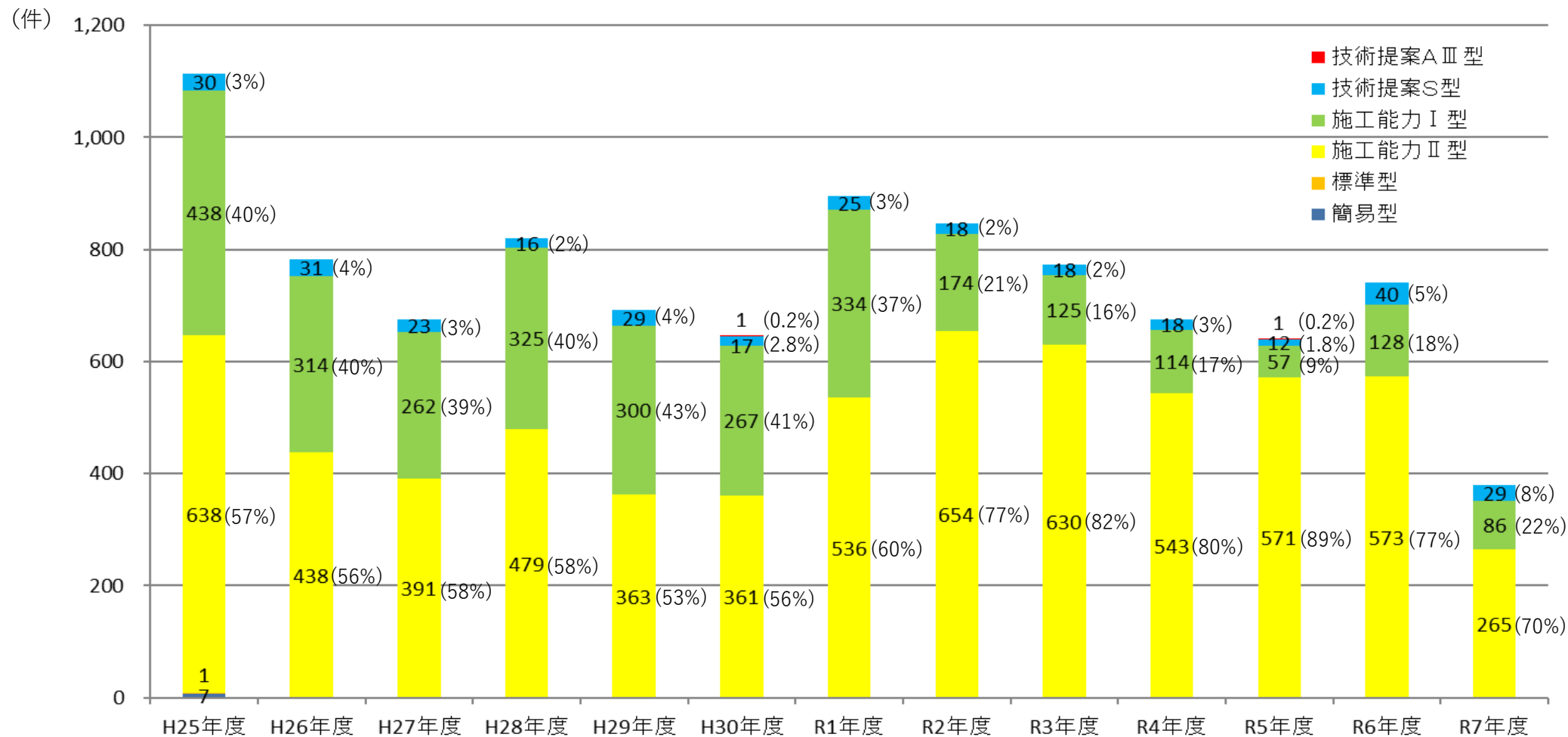
令和8年3月4日  
北陸地方整備局

公共工事の品質確保の促進に関する法律  
の一部を改正する法律（H26.6.4）

公共工事の入札契約方式の適用に  
関するガイドライン（H27.5月）

### 施工能力・技術提案（2極化）

実施率 (96.2%) (97.5%) (99.0%) (99.4%) (99.3%) (99.1%) (99.9%) (99.4%) (99.5%) (99.7%) (99.5%) (99.3%) (99.0%)



※件数は、建設及び港湾空港関係。 随意契約を除く。  
R7年度は、令和7年4月～令和7年12月末までの契約件数。

# 落札者の傾向（得点と価格） 施工能力評価型 I 型

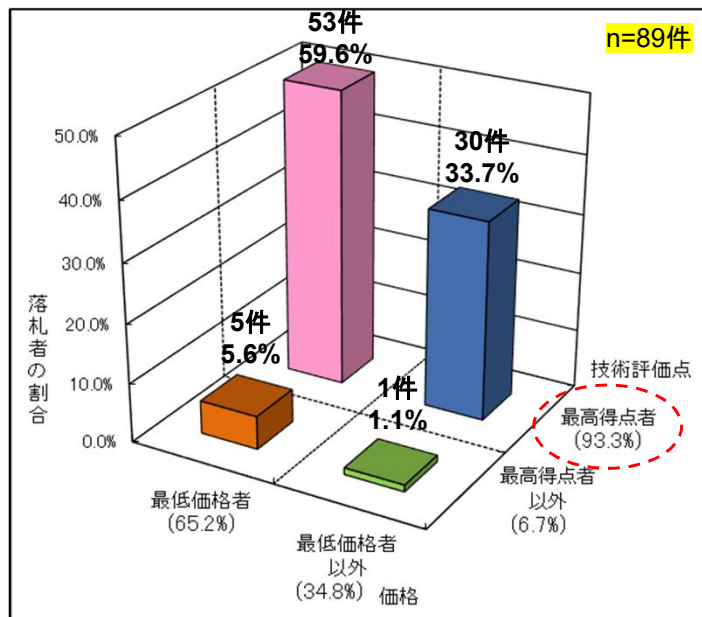
【工事関係】

○ R 7 の施工能力評価型 I 型においては、**技術評価点の最高得点者の落札が85.7%の者が落札**している。  
 ○ いずれの年度も技術評価点が最高かつ最低価格者の落札者の割合が高く、技術も価格も1位の者の落札が最も多い。

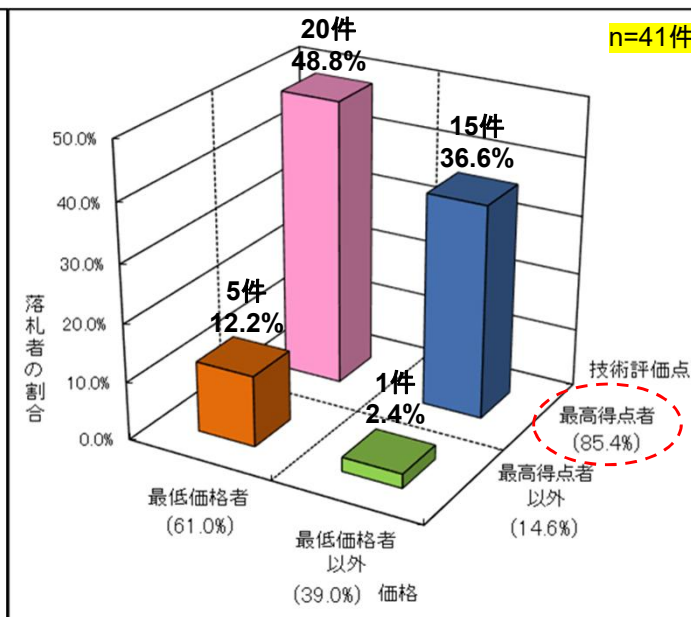
## 施工能力評価型 I 型

令和4年度

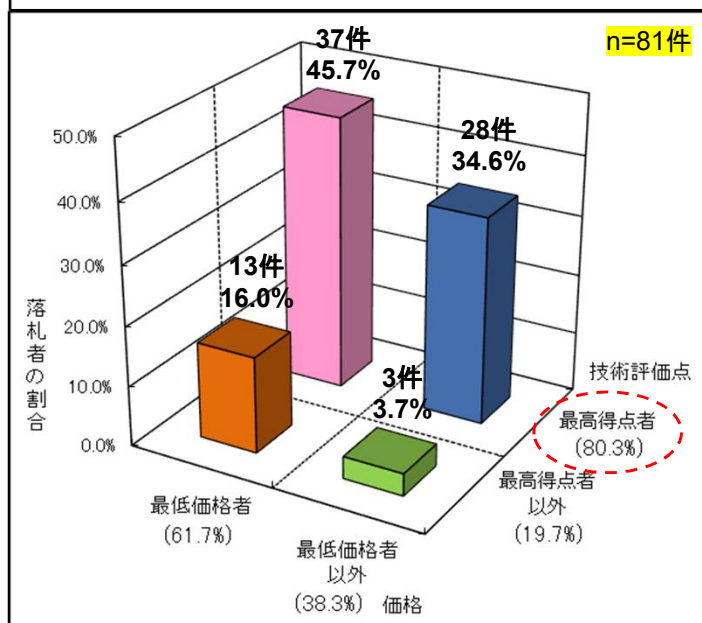
- 技術評価点が最高で最低価格者
- 技術評価点が最高で最低価格者以外
- 技術評価点が最高以外で最低価格者
- 技術評価点が最高以外で最低価格者以外



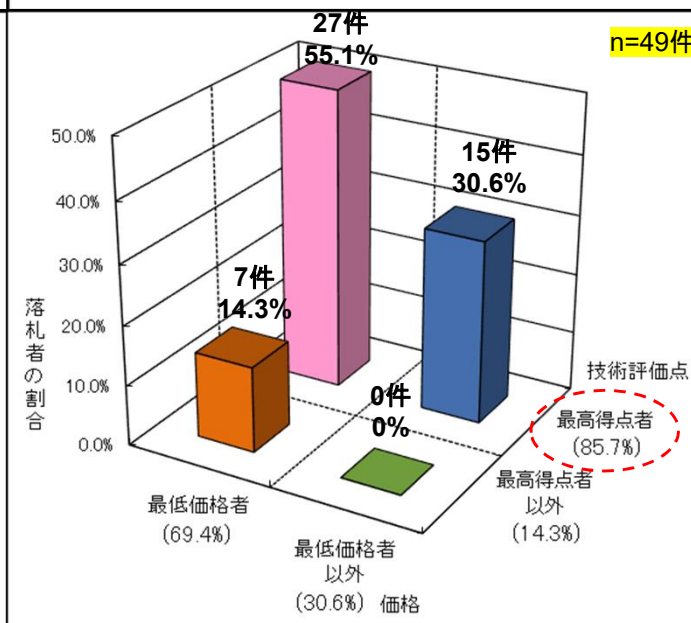
令和5年度



令和6年度



令和7年度



※競争参加者が1者の工事を除く。 ※建設及び港湾空港関係 ※令和7年度は、令和7年12月末までの契約件数。 ※（ ）は価格、加算点毎の者数割合

# 落札者の傾向（得点と価格） 施工能力評価型Ⅱ型

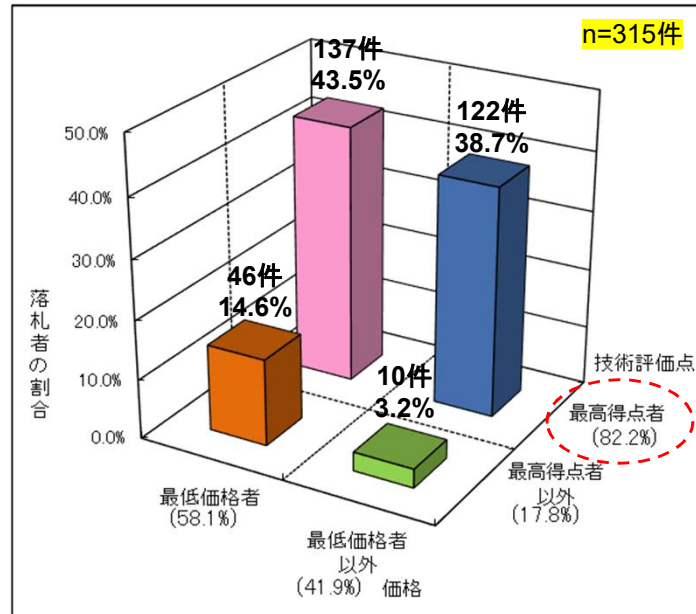
【工事関係】

- R 7 の施工能力評価型Ⅱ型においては、**技術評価点の最高得点者の落札が84.5%**となっている。
- いずれの年度も技術評価点が最高かつ最低価格者の落札者の割合が高く、技術も価格も1位の者の落札が最も多い。

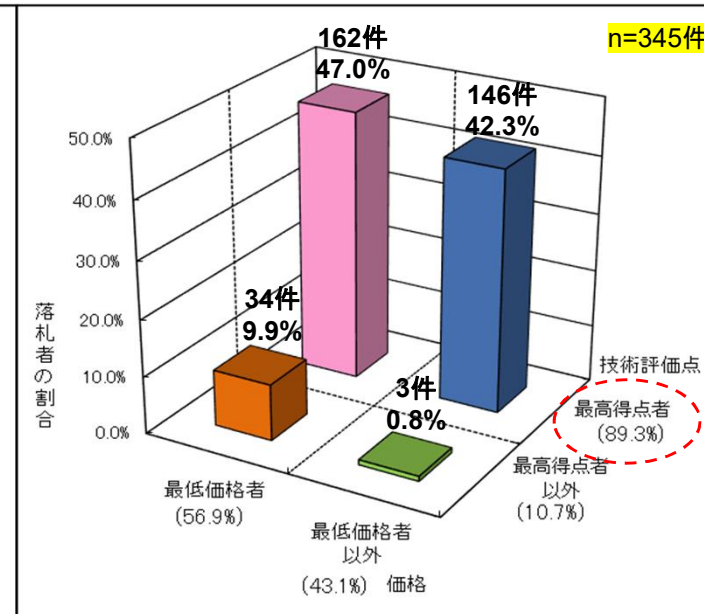
## 施工能力評価型Ⅱ型

令和4年度

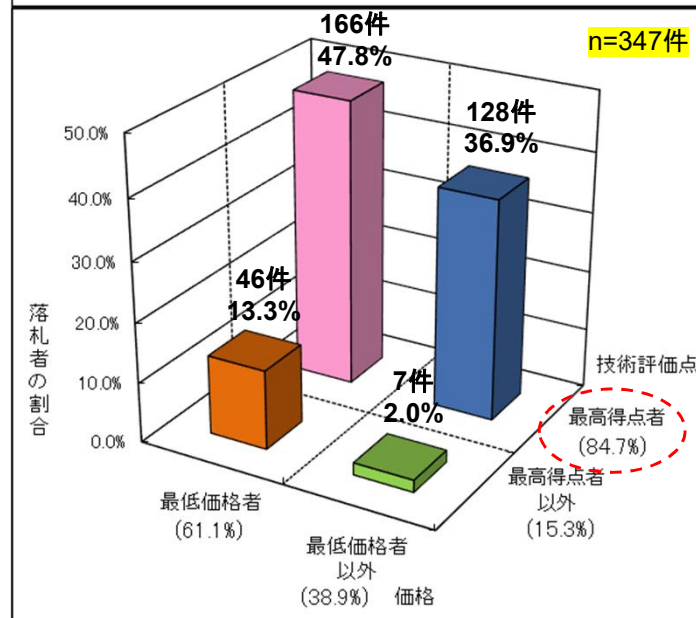
- 技術評価点が最高で最低価格者
- 技術評価点が最高で最低価格者以外
- 技術評価点が最高以外で最低価格者
- 技術評価点が最高以外で最低価格者以外



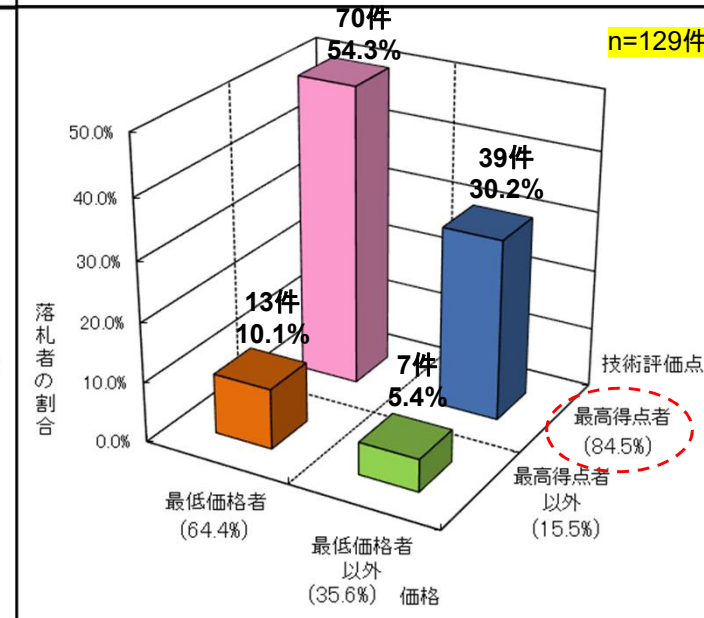
令和5年度



令和6年度

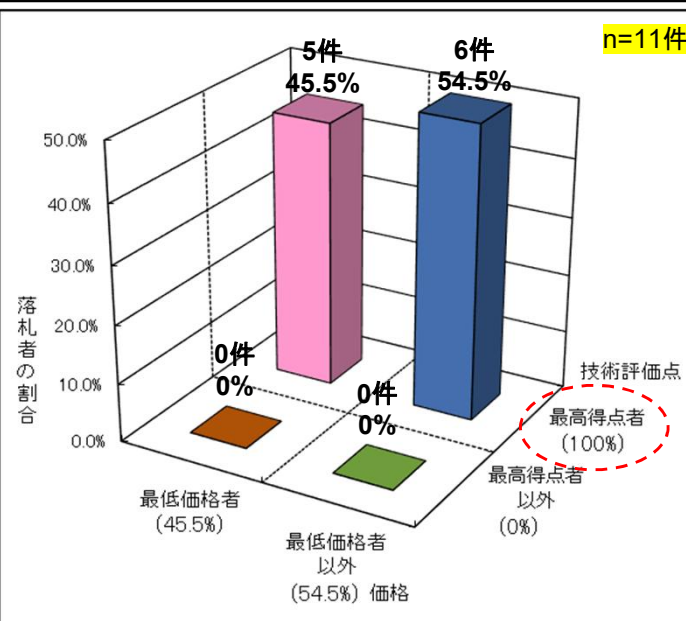
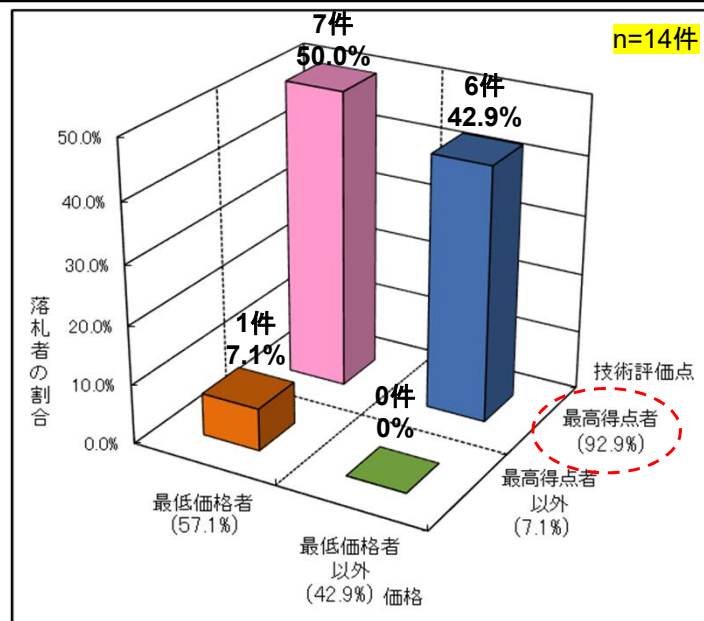


令和7年度



- 技術提案評価型 S 型は工事技術的難易度が高く、技術提案の配点が高いことから、技術評価点の最高得点者の落札がおおむね 9 割以上であり、技術提案で高い評価を受けた者が受注する傾向である。
- R 7 は、最低価格者以外で最高得点者の落札割合が 64.0% であり、より技術に優れている者が受注している。

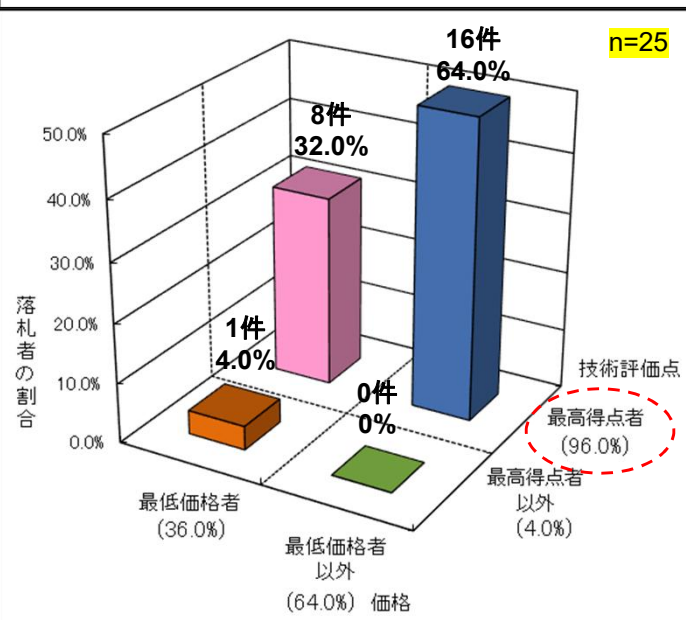
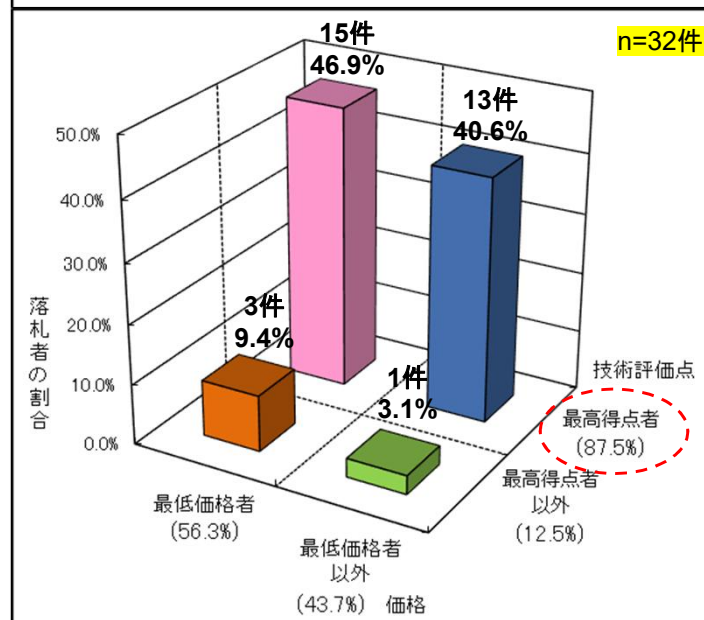
技術提案評価型 S 型  
令和4年度



令和5年度

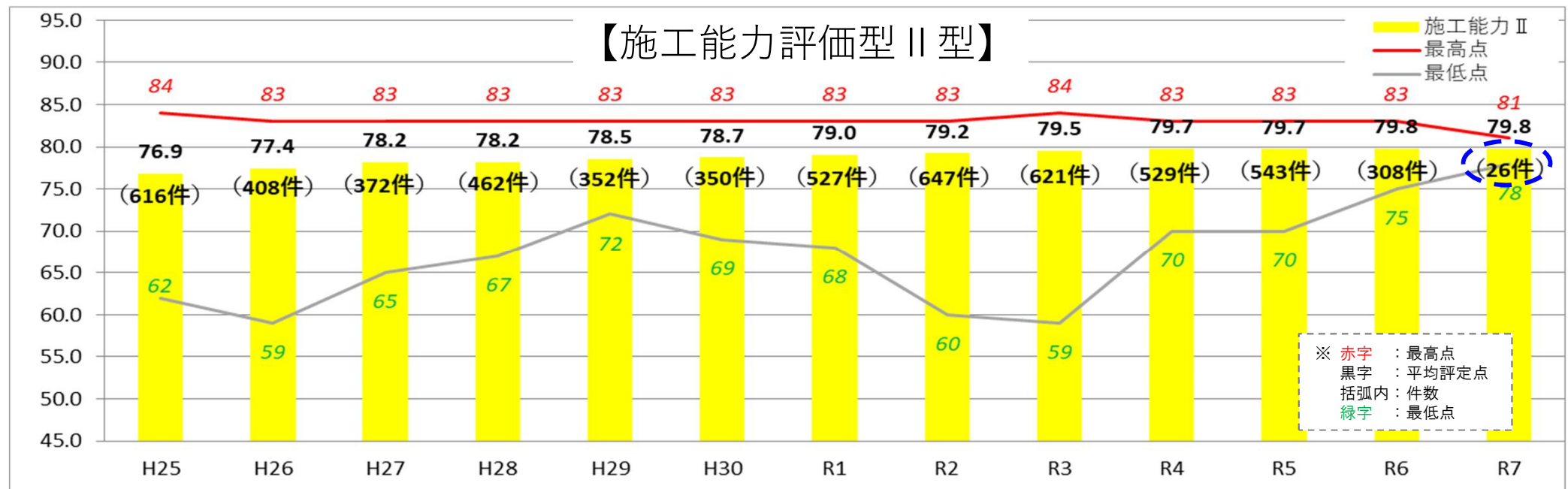
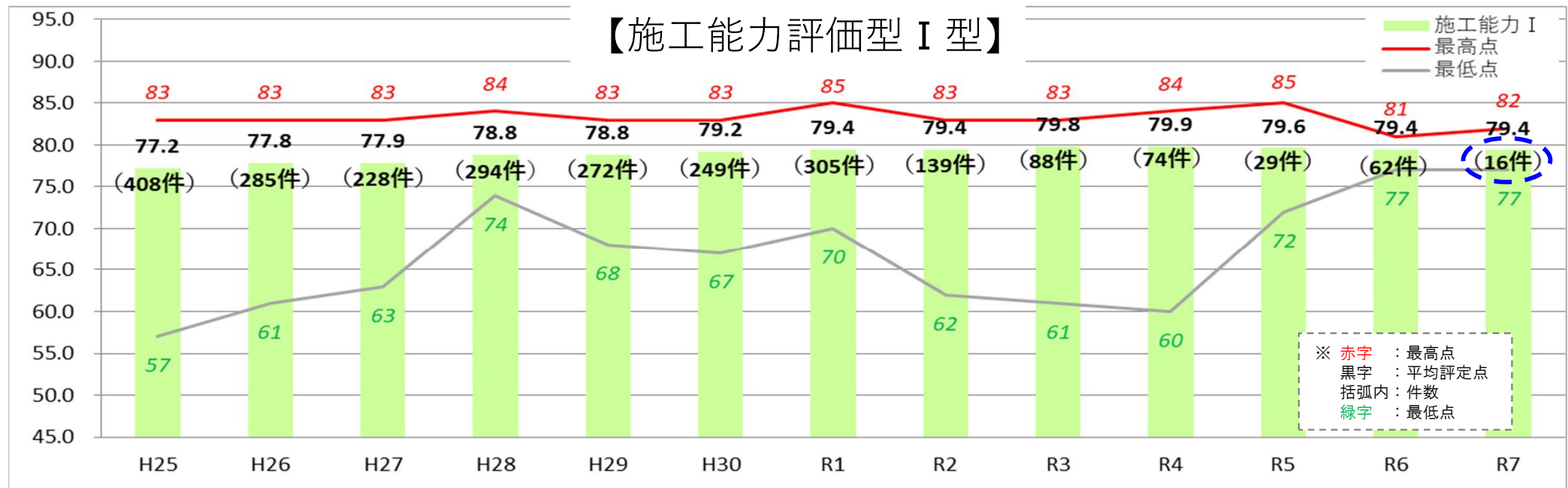
- 技術評価点が最高で最低価格者
- 技術評価点が最高で最低価格者以外
- 技術評価点が最高以外で最低価格者
- 技術評価点が最高以外で最低価格者以外

令和6年度



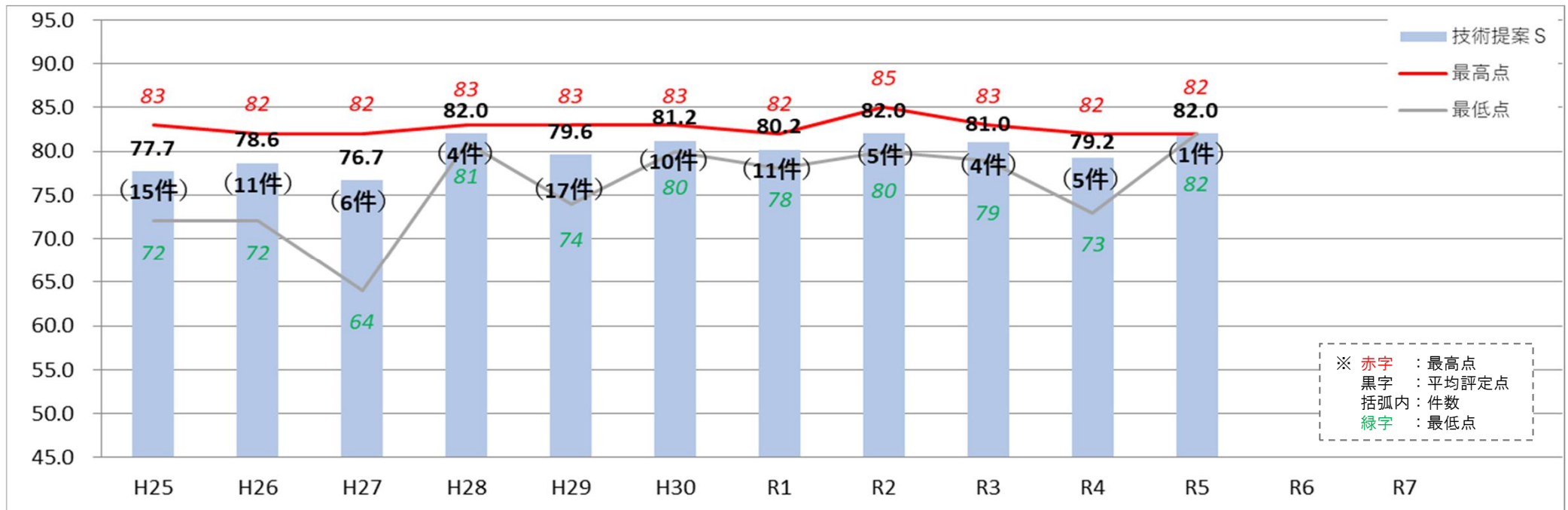
令和7年度

○ I型でもII型でも工事成績平均点は安定傾向である。ただし、最低点が上昇しており、最高点と最低点の差が縮まる傾向にあり、平均的な工事の成績は上がっていることが推測できる。



- S型は工事成績平均点が安定傾向であり、最高点と最低点の差が縮まる傾向にある。
- 近年件数は少なくなっているが、工事技術的難易度が高く、技術提案の配点も高いことから、より優秀な者が受注し品質確保・向上に寄与しているため、工事成績の平均点が80点を超える傾向が見られる。

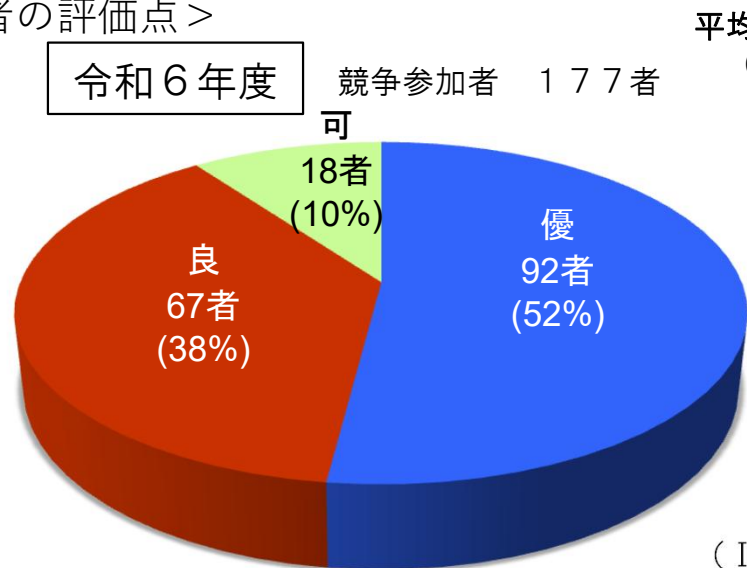
### 【技術提案評価型S型】



※発注年度ベース：平成25～令和7年度（R7. 12. 31現在）、工事成績：最終請負金額：500万円以上（税込み）、港湾空港関係除く

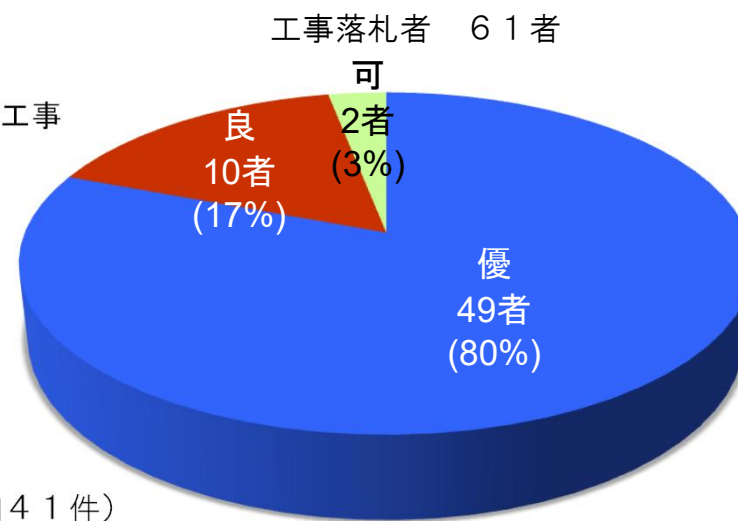
- 競争参加者の評価点の内訳を比較すると、施工計画の評価結果にばらつきが出ている。
- 落札者の施工計画評価は、殆どが「優」又は「良」であり、施工計画立案に優れた者との契約に寄与。

### <参加者の評価点>

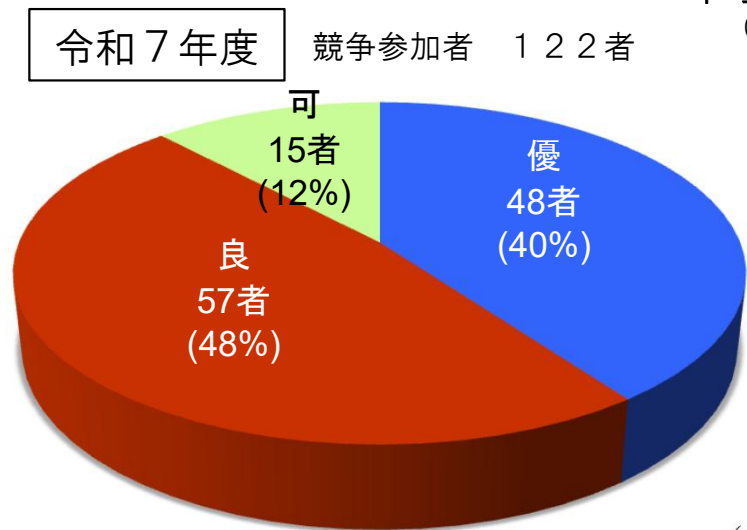


平均競争参加者数 2.9者  
(177者/61工事)

※102工事の内、  
一括審査工事18工事  
通常工事84工事

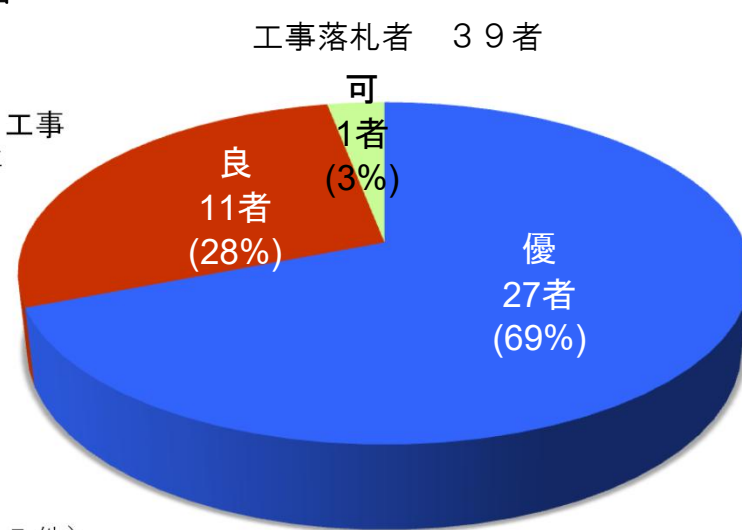


工事件数 61件  
(I型102件-1者参加41件)



平均競争参加者数 3.1者  
(122者/39工事)

※74工事の内、  
一括審査工事11工事  
通常工事63工事



工事件数 39件  
(I型74件-1者参加35件)

※令和7年度は、12月末までの契約件数。港湾空港関係を除く。

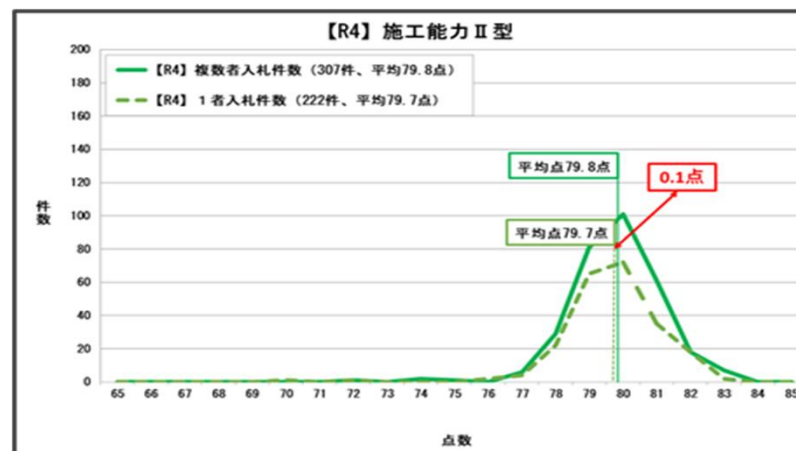
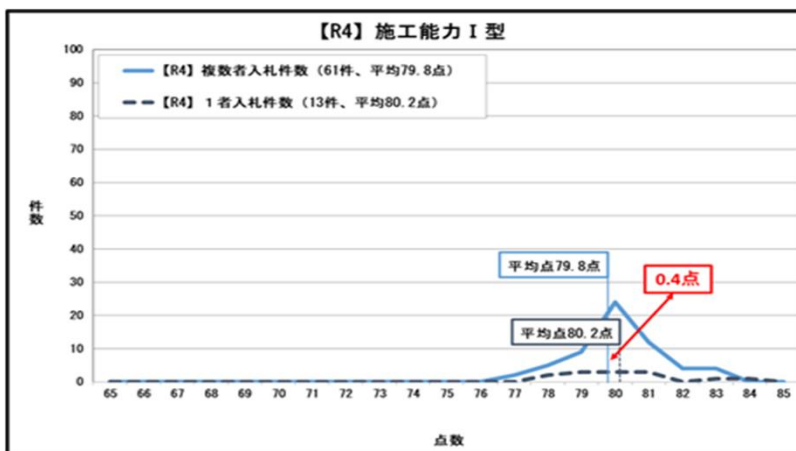
- 各総合評価における工事成績平均点について、複数者入札と1者入札による工事成績平均点を比較した。
- 工事成績平均点については、ほぼ差がなく、工事品質に影響はない。

年度	総合評価落札方式	通常集計		複数者入札		1者入札		平均値の差
		件数	平均点	件数	平均点	件数	平均点	
R4	施工能力I型	74	79.9	61	79.8	13	80.2	0.4
	施工能力II型	529	79.7	307	79.8	222	79.7	0.1
	技術提案S型	5	79.2	4	79.0	1	80.0	1.0
R5	施工能力I型	29	79.6	20	80.0	9	78.9	1.1
	施工能力II型	542	79.7	330	79.7	212	79.8	0.1
	技術提案S型	1	82.0	1	82.0	0	0	-
R6	施工能力I型	61	79.4	37	79.4	24	79.5	0.1
	施工能力II型	304	79.8	181	79.8	123	79.9	0.1
	技術提案S型	0	0	0	0	0	0	-

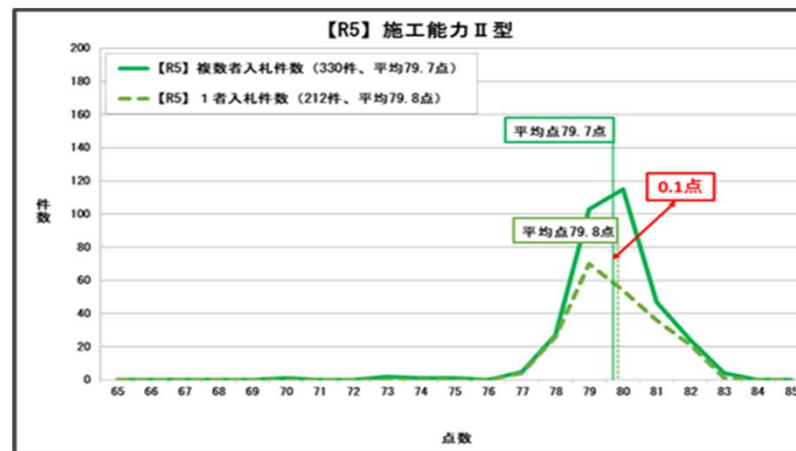
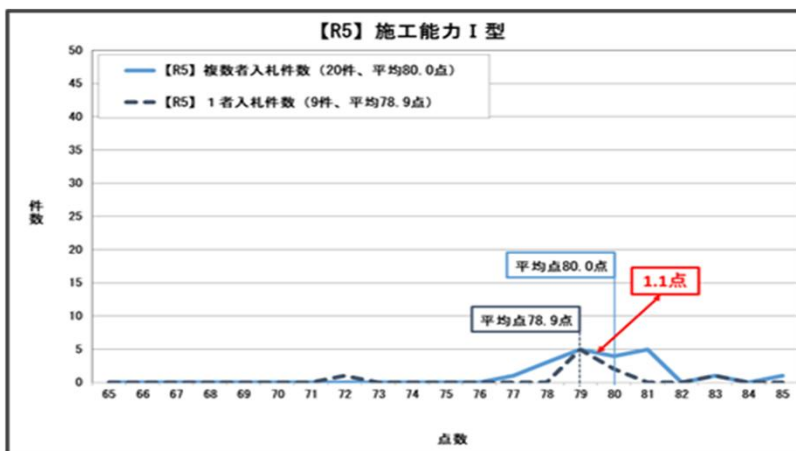
※発注年度ベース：令和4～令和6年度（R7.12.31現在）、工事成績：最終請負金額：500万円以上（税込み）、港湾空港関係除く

複数者入札と1者入札の件数及び点数の状況

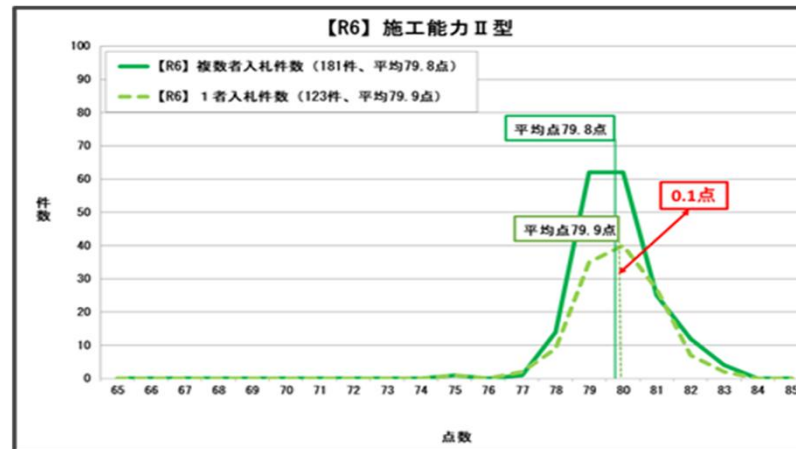
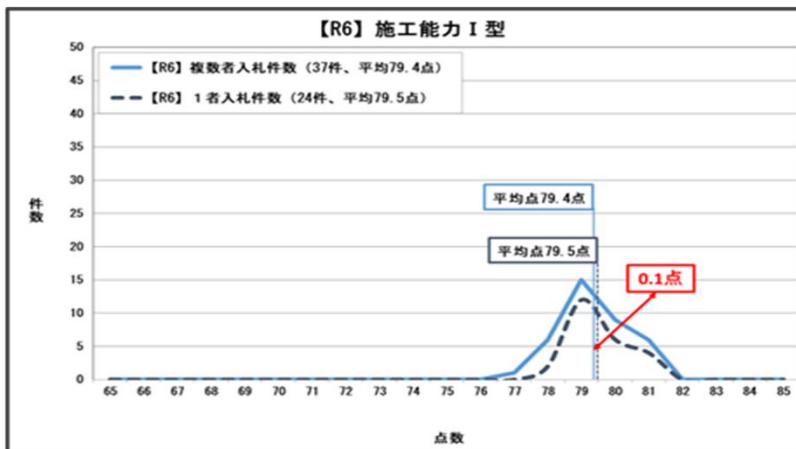
【R4】



【R5】



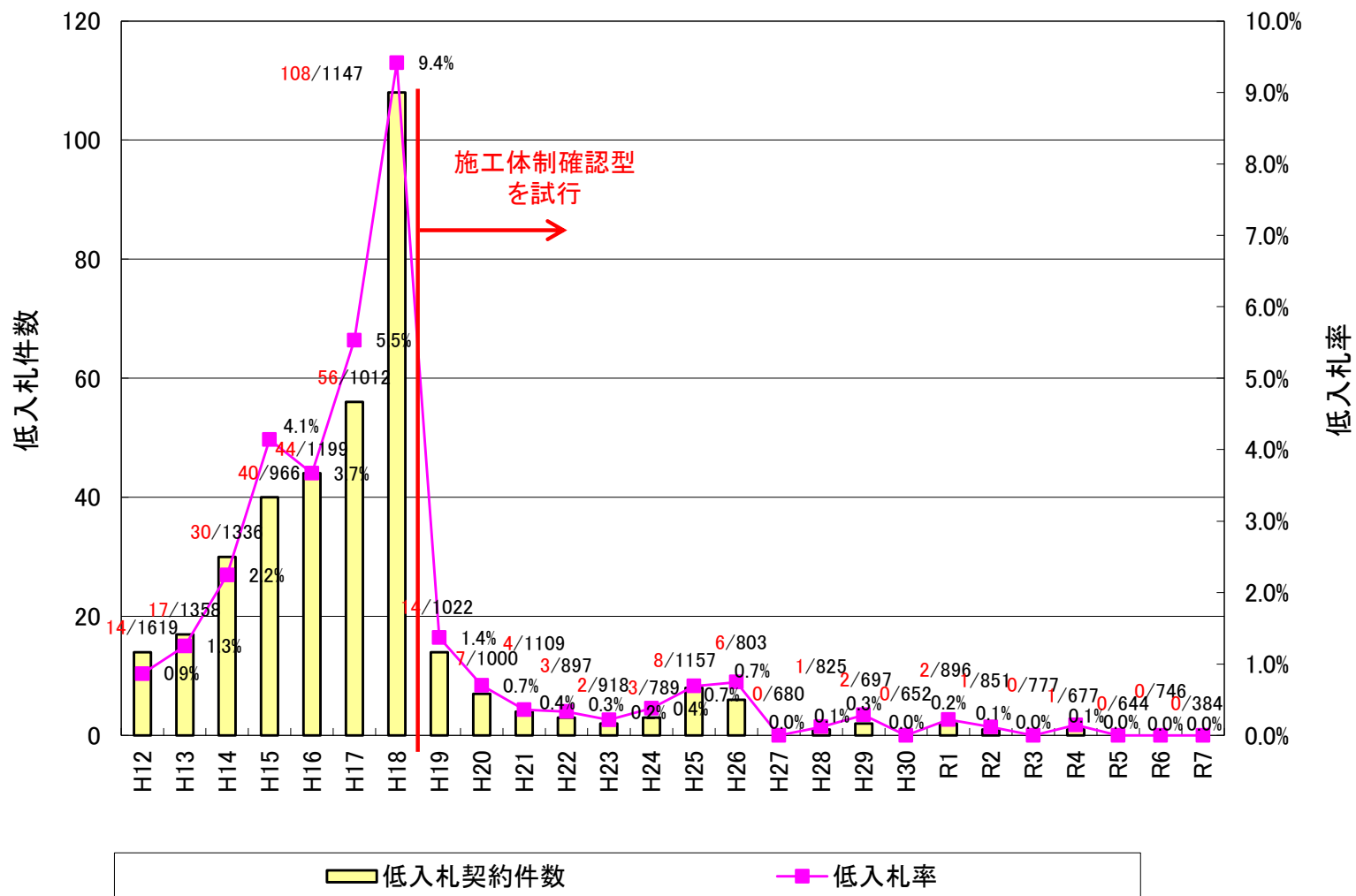
【R6】



※発注年度ベース：令和4～令和6年度（R7. 12. 31現在）、工事成績：最終請負金額：500万円以上（税込み）、港湾空港関係除く

○ 低入札との契約は、施工体制確認型を試行で実施した平成18年12月以降は激減しており、近年では、R4に1件発生した後は、R5以降は0件が続いており、施工体制確認型の導入が低入札契約の防止に寄与している状況。

北陸地方整備局 年度別低入札件数



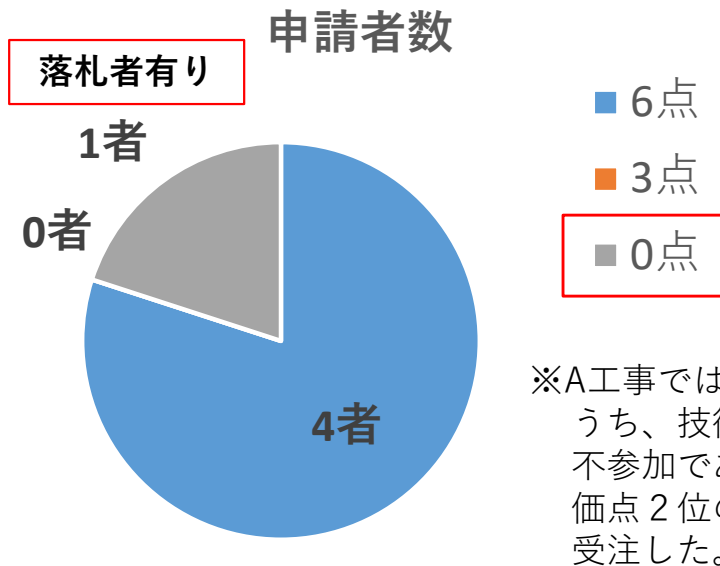
※件数は、建設及び港湾空港関係。 随意契約を除く。  
令和7年度は、令和7年4月～12月末までの速報値。

- 受注機会促進型について、2件の実施結果を示す。
- 受注機会促進型とは、当該年度の手持ち工事量を評価することで受注機会の促進を促す方式であり、2件のうち、1件において最大加点6点（公告日において契約中の北陸地方整備局発注※の一般土木工事の受注件数が、3件未満）の者が、受注機会を得ている。

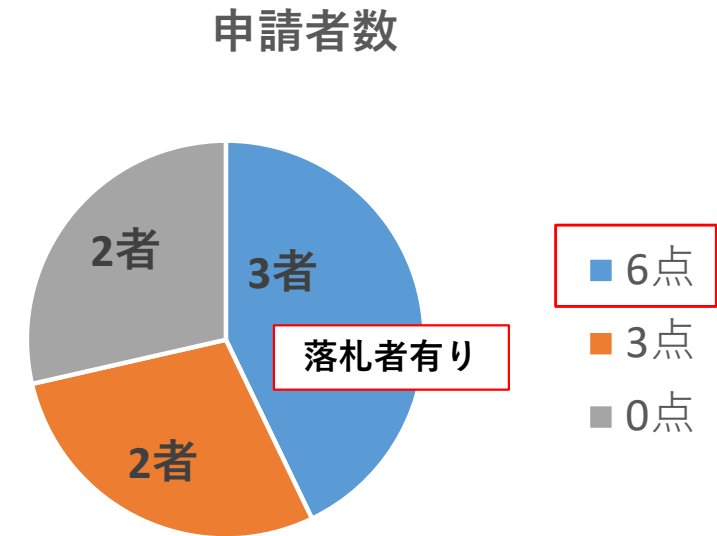
※港湾空港関係事務に関するものを除く。

A 工事

B 工事



※A工事では、加算点6点の者のうち、技術評価点1位の者が不参加であったため、技術評価点2位の加算点0点の者が受注した。



## 受注機会促進型とは

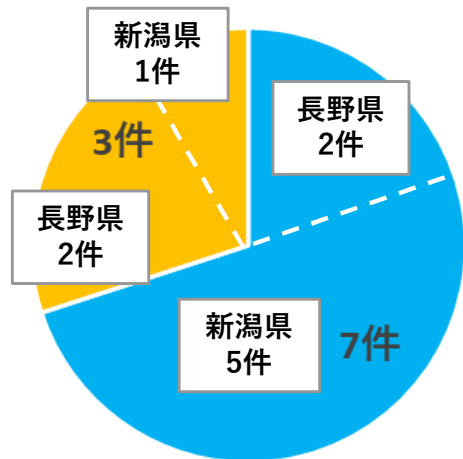
当該年度の手持ち工事量を評価することで、**受注機会の拡大を促す方式**であり、企業の能力等における優良工事表彰等の固有企業に与えられる加点を、手持ち工事量の評価に代えることにより受注機会の拡大を促し、受注機会が得られないことより**表彰を受ける機会が得られない課題の解決**をはかる。

## 手持ち工事量の評価（企業の施工能力）

評価内容	評価基準	加算点
公告日において契約中の北陸地方整備局	6件以上	0点
発注の一般土木工事の受注件数を評価する。	3件以上～6件未満	3点
	3件未満	6点

- 自治体実績評価型について、10件（新潟県6件、長野県4件）の実施結果を示す。
- 自治体実績評価型とは、国の評価の他に、地方自治体（県）の工事成績評定点や優良工事表彰を評価する方式であり、**10件中3件の工事では「国・県で評価」している者が落札**している。
- 申請者のうち、最も多く採用された県の実績評価は、配置予定技術者の施工能力の工事成績。企業の施工能力の工事成績は、県の評価を採用した者はない。

自治体実績評価型  
10件の落札件数内訳



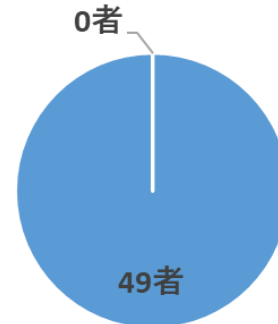
■ 国のみ評価  
■ 国・県で評価

### 自治体実績評価型とは

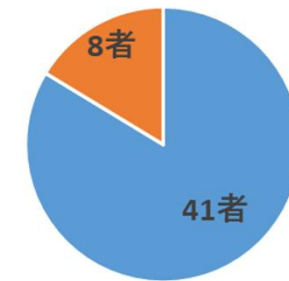
入札参加者が少ないことから、競争性を高め、一層の品質確保・向上を図るため、地方自治体（県）の工事成績評定点や優良工事表彰を評価する試行である。

自治体実績評価型 申請者数内訳（企業の施工能力）

工事成績



優良工事表彰・  
安全管理優良請負者表彰

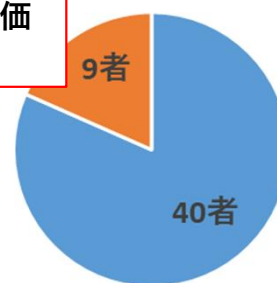


延べ申請者数  
49者  
■ 国の実績評価  
■ 県の実績評価

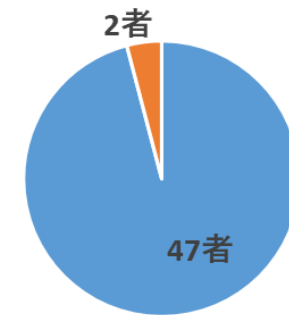
自治体実績評価型 申請者数内訳（配置予定技術者の施工能力）

工事成績

県の実績評価  
が最も多い

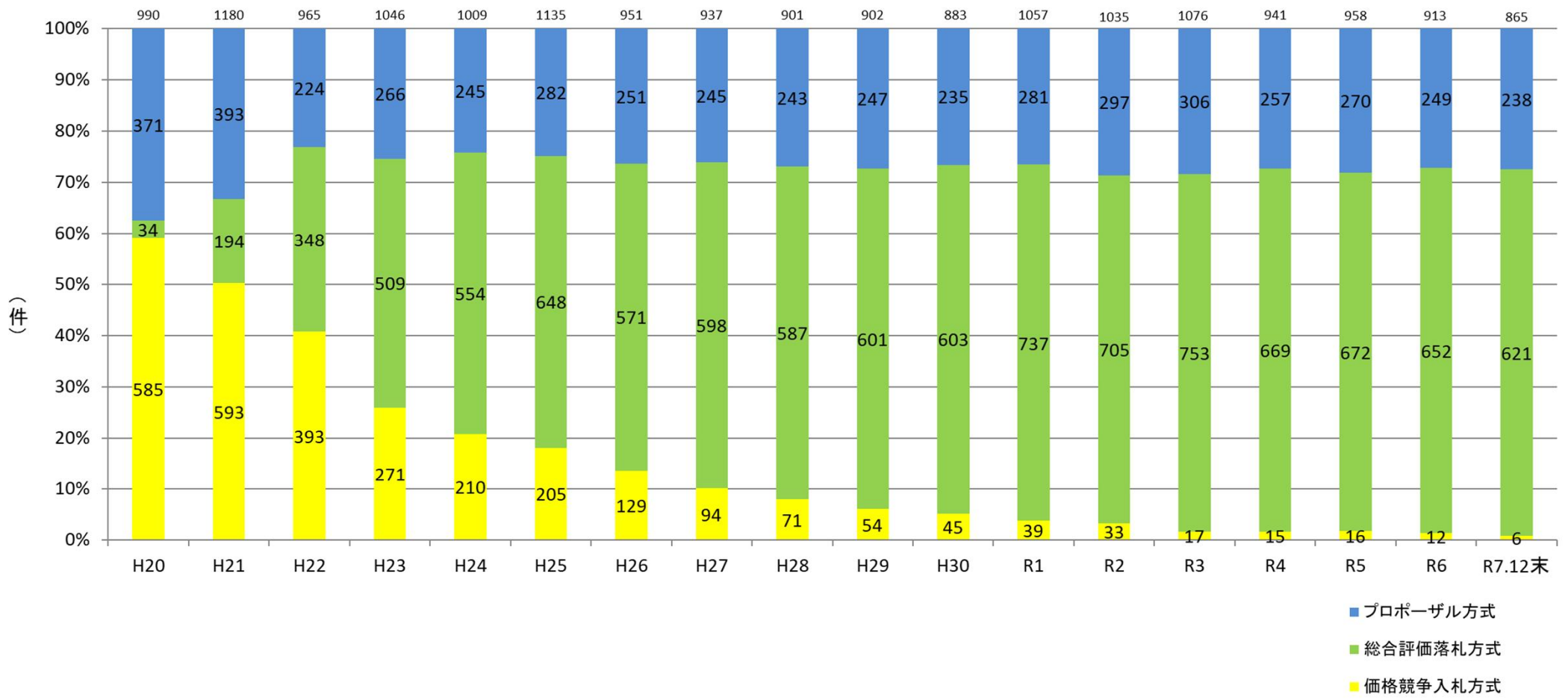
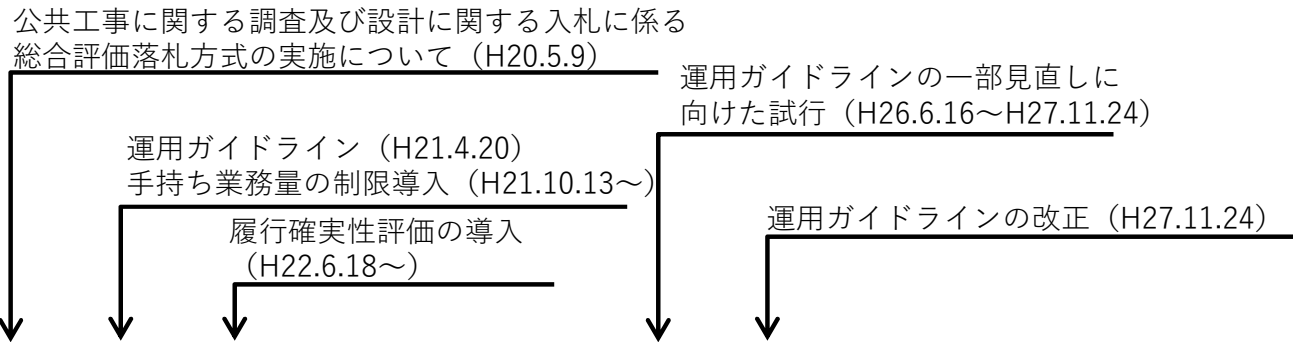


優良工事技術者表彰等



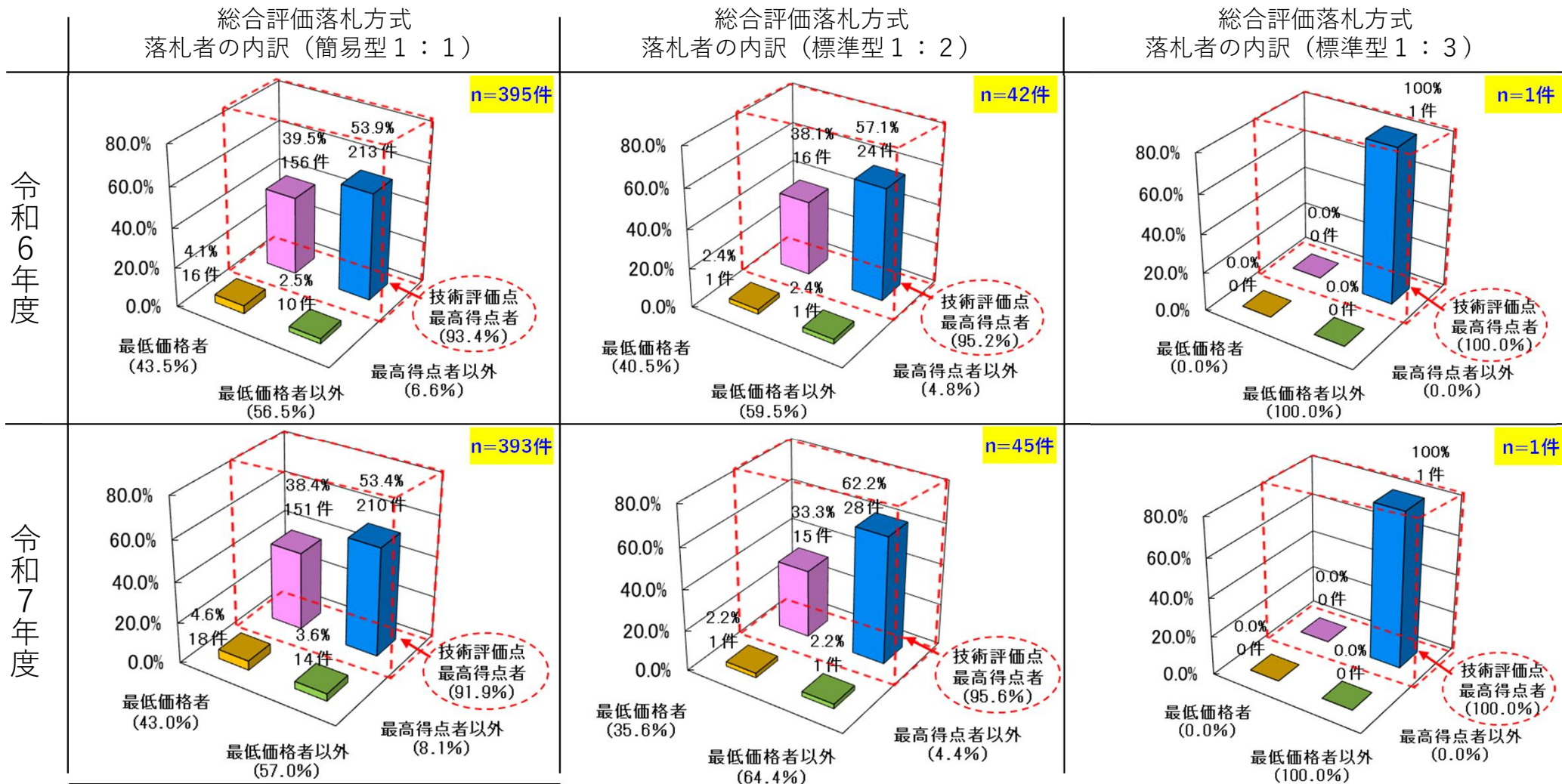
延べ申請者数  
49者  
■ 国の実績評価  
■ 県の実績評価

※全てが県の実績評価の者はいない。



※発注者支援業務等(旧市場化テスト対象)、随意契約除く  
令和7年度は令和7年12月末契約までの速報値

- 総合評価落札方式では、簡易型、標準型とも、落札者の約9割が技術点の最高得点者。
- 技術点の最高得点者のうち、約6割は最低価格者以外が落札。（技術点による逆転）
- 簡易型、標準型ともに技術力を高く評価された者が落札する傾向。

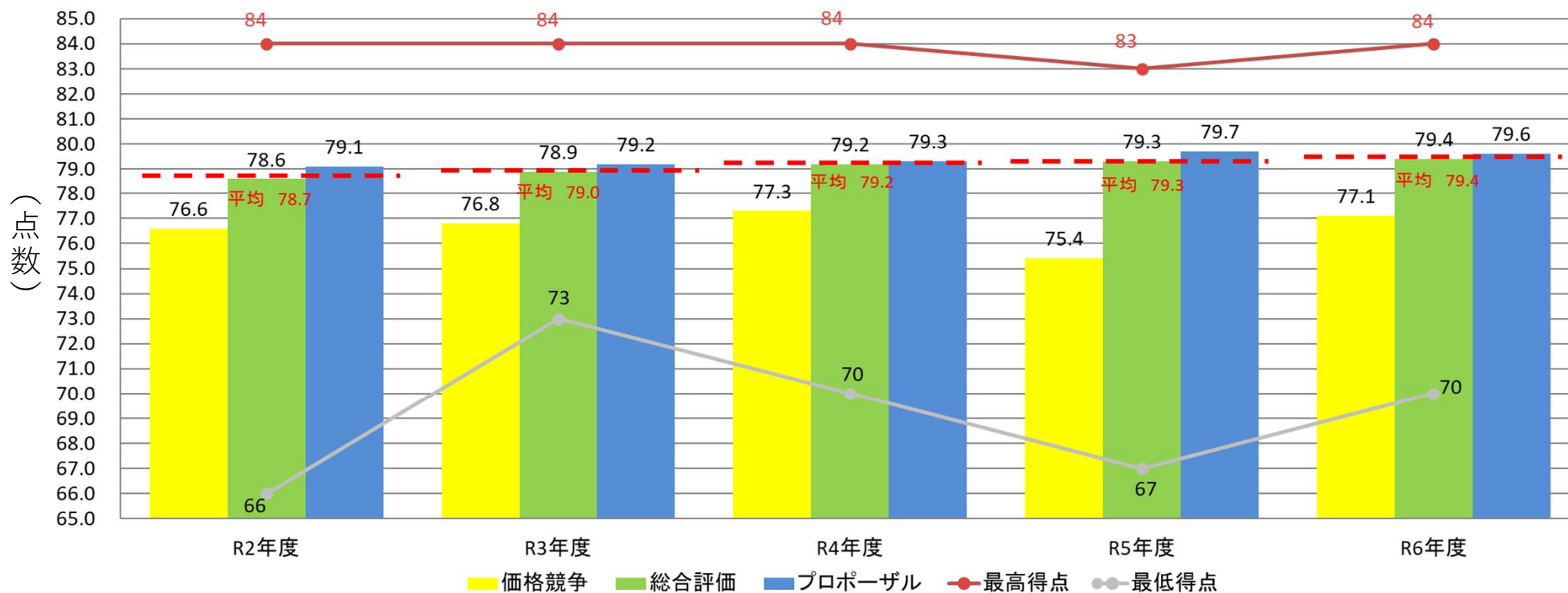


凡例

- 技術評価点が最高で最低価格者
- 技術評価点が最高で最低価格者以外
- 技術評価点が最高以外で最低価格者
- 技術評価点が最高以外で最低価格者以外

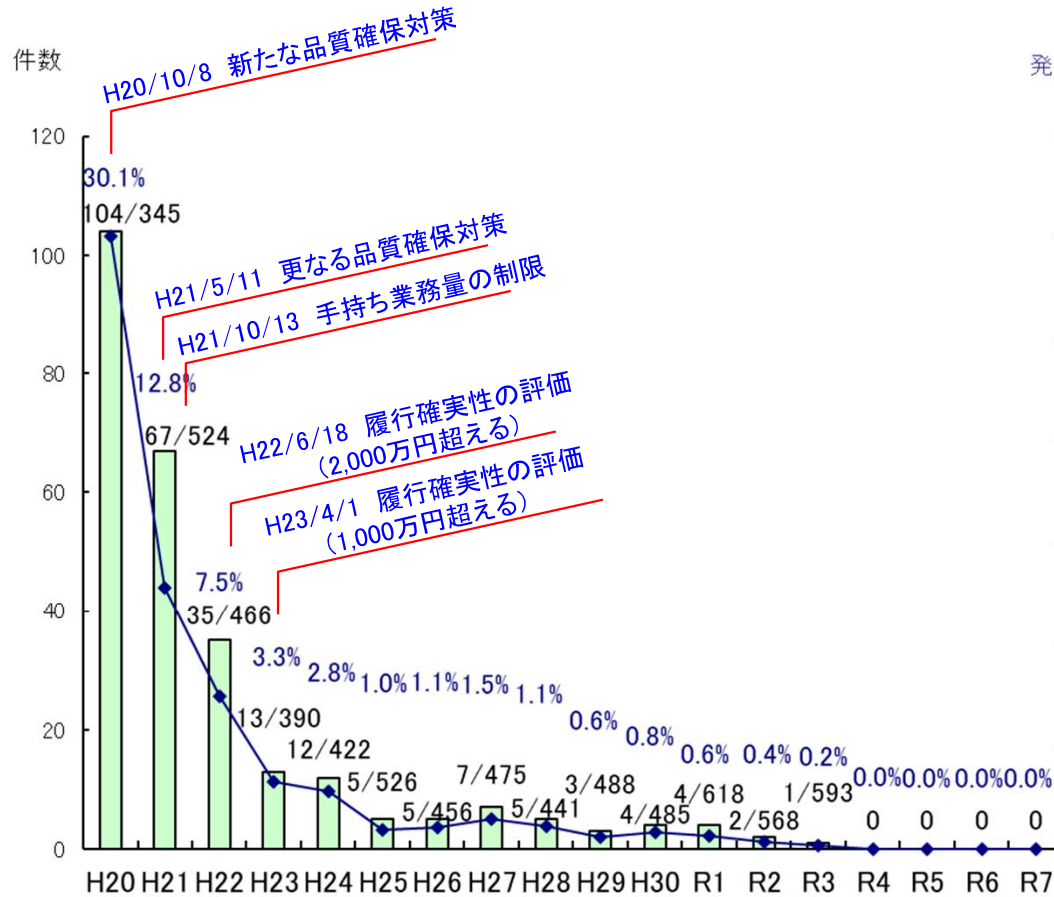
※発注者支援業務等（旧市場化テスト対象）、1社応札業務を除く  
 ※令和7年度は令和7年12月末契約までの速報値  
 ※四捨五入の関係上、各%と（）書の%は一致しない場合がある

○ プロポーザル方式・総合評価落札方式の採用（増加）により、業務全体の品質が向上。  
（業務成績が上昇傾向）

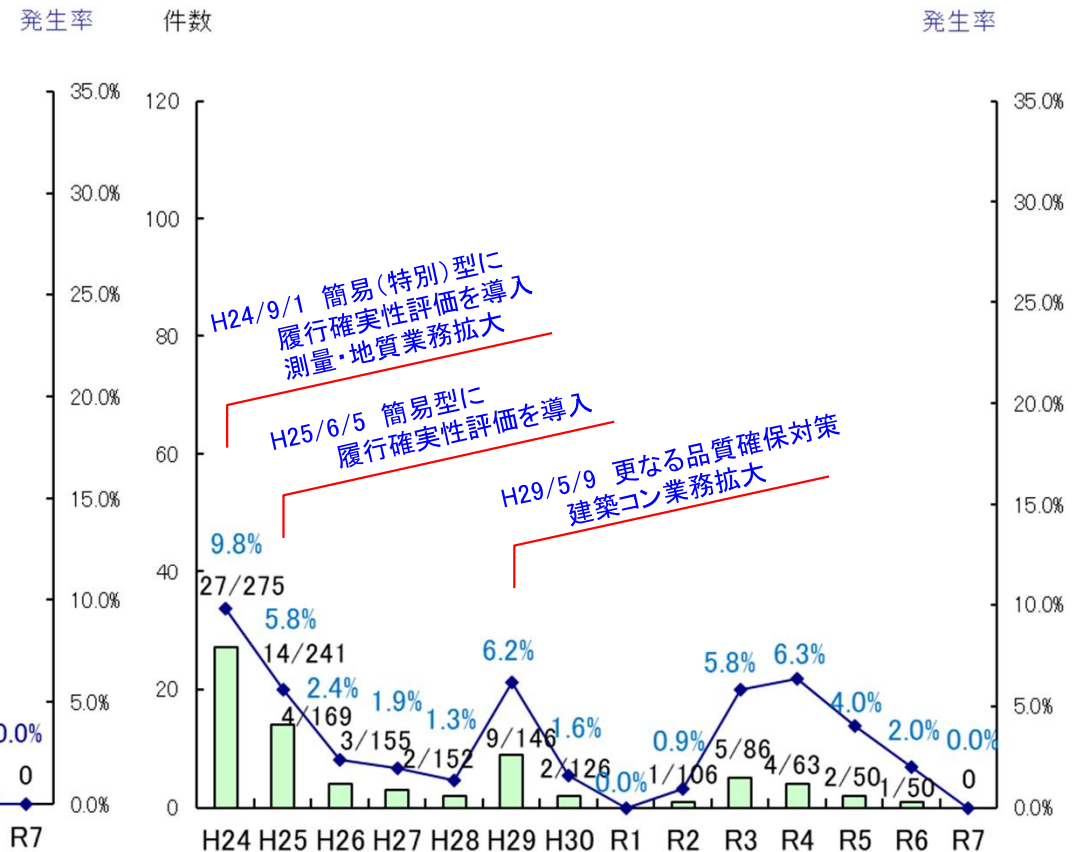


○ 平成25年6月より、1,000万円以下の総合評価（簡易型）に履行確実性の評価を導入。  
その結果、低入札の発生件数・発生率が低下。

1,000万円を超える業務



1,000万円以下の業務



■ 低入札発生件数    ◆ 低入札発生率(低入札発生件数/発注件数)

※令和7年度は、令和7年12月末契約までの速報値。

※発注者支援業務等（旧市場化テスト対象）を除く、港湾空港関係を除く、価格競争、総合評価方式を対象件数として算定。



